

国際ロータリー第2620地区
静岡第5クラブ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

週報 パワー浜松ロータリークラブ

ニューパワーを発揮してみんなでつながろう

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニ / 第 2620 地区ガバナー 安間みち子 / 会長 小田木基行 / 幹事 堀内善弘

〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800

Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



ロータリーは
世界をつなぐ

Rotary

第779回例会9月10日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：高橋邦明 曾布川美登理 ■点鐘：小田木基行
- 週報：福地三則
- ロータリーソング：手話「希望のエナジー」
- ゲスト：社会福祉法人和光会児童養護施設 和光寮 施設長 徳田義盛様
米山記念奨学生 サイ・ピョー・ミエン・マオさん

出席報告/スマイル報告

会員数 78 名 (内出席免除会員 2 名)

出席数 65 名 出席率 85.53%

前々回出席率 88.16%

- ① 鈴木一広
- ② 小澤邦比呂
- ③ 原田道子
- ④ 原田道子

会長挨拶



9 月 1 日から京都で ICOM (international council of museums) 国際博物館会議が日本で初めて開催されました。世界の博物館関係者が集まって「街が博物館の存在により地域活性化する」を宣言しました。

文化は時の権力者によって好き勝手に予算が減少されることを避けなければならない。私も浜松科学館 館長として 9 月 4 日、5 日と参加をして来ました。科学館はミュージアムではないのに…という疑問があるかと思いますが、実は博物館類似施設に科学館は所属します。世界の文化施設は博物館が中心で科学館は二の次と解りました。

今回の国際会議のメインのパネルディスカッション「博物館と地域発展」で門川京都市長がパネラーとして着物姿で参加、後の 5 人はポーランド、ポルトガル、アメリカの方々でした。私が一番驚いたのは、男性・女性パネラーが全員ステージで足を組んで話をしていたことです。(行儀悪くないですか?) とは言え充実した 2 日間でした。

浜松市には博物館が蜷塚遺跡の裏にありますが、地域のミュージアムとして輝いてほしいものです。

幹事報告

今年度の合同奉仕は 8 月末締切で 23 の事業提案になりました。当クラブで提案していた 10 月 27 日の浜松「Formama Festa」につきましては 9 万円の予算をもらえました。浜松東クラブと折半して行いたいと思います。

12 月 3 日の担当例会につきましては日本のアニマルセラピー、セラピードックの先駆けである大木トオル様に卓話していただきますが、読売新聞に掲載されている「時代の証言」という記事を数回に分けて事前に皆さまに発信させていただきますのでお読みください。



委員会報告

社会奉仕部会長：小川善嗣さん

9 月 21 日土曜日のマイクロプラスチック奉仕作業ですがこちらは 4 ロータリークラブ合同となっています。

朝 6 時 40 分にこちらの集合場所においでください。車両許可書を車に掲示してください。全員で集合写真も撮ります。7 時からゴミ拾いを開始いたします。8 時 20 分からはウミガメの放流です。予定では 9 時に終わる予定になってます。



米山記念部会：藤田光弘さん

9 月 7 日土曜日に恒例の柿田川の合同清掃奉仕作業にサイくん、村田さんと 3 人で行ってきました。今回は各国からきている奨学生も参加してネパールやスリランカ、イエメンの国の水の事情発表がありました。

ネパールの水の話は、畑に化学肥料をどんどん撒いている中国の影響でネパールの地下水が非常に汚染されていて地下水が飲めないと言う発表がありました。



奨学生：サイ・ピョー・ミエン・マオさん

9 月 7 日に柿田川で清掃作業をさせて頂きました。作業の前に自分の国の上水道事情についても話をさせていただきました。皆さんの話を聞いて驚いたのは日本の水道でした。日本の水道は全国どこでも飲めると言うことで外国人の目から見るとすごく驚きました。飲めることが当たり前になっているのはその裏側に日本人たちの努力があったからで、日本の子供たちにきれいな未来の環境を残したいと言う姿勢を感じました。



副幹事総務：諸星圭吾さん

11 月 3 日 (日) 4 日 (月) 祝日は地区大会があります。4 日は例会日になっておりますので多くの出席をお願いします。今回の地区大会はハーモニーロータリークラブと共同開催をしていくという位置づけになります。1 日目は 300 名、2 日目は 1500 名のロータリアンの来場となります。ハーモニークラブの皆様と一緒におもてなしにご協力をお願いしたいと思っています。

地区青少年交換学生プログラム：リービージョウさん

8 月 31 日と 9 月 1 日にポーランドとデンマークとフィンランドとフランスの 4 名のインバウンドの学生が発表しました。また海外から帰ってきた日本人留学生全員に 1 年間海外で経験した事を発表してもらいました。皆さん海外に行く前と帰ってきた後の顔が全然違う位に成長していました。次の日、堀内さんが引率して富士山にみんなで登りました。いっぱい良い写真とビデオを撮りました。



議 事

財団プログラム部会「社会的養護と和光寮の現状と課題」：和光寮 施設長 徳田義盛様

私は農協 JA に 10 年間勤めていました。10 年目に転職するきっかけになったのは、妻と出会い結婚して生まれた双子の長女が重度の脳性麻痺で生まれたことでした。その子を授かって 2 年後ぐらいに転職しました。その時福祉の世話になり、こんな素敵な職業があるのだと知りました。そして地元の朝霧荘と言う知的障害児を預かっている養護施設の職員が亡くなられて、知人に勧められて急遽私が入ることになりました。そこで社会福祉士という資格を取りまして 10 年間知的障害児の児童指導員として勤めました。そのあと、三方原にあるなごみという介護老人福祉施設の設立に関わりしました。こども園と隣接している老人ホームで、子供と老人の垣根のない福祉施設です。



いま施設長をしている和光寮は社会的養護と言われます。保護者がいない児童を公的責任で保護するものです。社会的養護の必要な子供達は日本では 0.2%、3 万 5 千人から 4 万人居ます。これは先進国の中では非常に少ない状況です。欧米諸国は 1%から 2%です。この前の東北大地震で 200 人の孤児が出ましたが、施設に預けられた子は 0 人でした。これは日本では公的セーフティネットではない、地縁や親類縁者のネットワークがある事を世界に知らしめました。ただ日本も今後、家族の絆、地域の絆が弱まってくると、社会的養護が必要な子供達の数が欧米諸国並みになる危険性があります。里親や経験豊かな養育者が自分の子供たちと一緒に子供を預かるファミリーホームは、制度ができて 10 年ほどになりますが浜松にも 1 箇所あります。日本では大人の自殺は減っていますが、子供たちが自殺する人数は年間 300 人くらいで減っていません。より家庭的な環境で子供達を育てる必要があります。今施設では小学生と高校生 6 人の女の子たちが暮

らしています。来年の秋からは施設の中をもっと主体的に暮らせる、家庭的な作りになろうとしています。子供たちが自ら主体的に暮らしを作り上げていく。子供たちが主人公になれるように子供会議を立ち上げて児童指導員と話し合いをしながら作り上げていくことを目指しています。家庭での暮らしと生徒のギャップをなくす。地域の子供たちとのギャップをなくす。家庭的役割を与え信頼と感謝を重んじる。自分を大切に他者を大切にするなど。こんなところを考えかたの基本として形作っていきます。障害がある無しに関わらず児童としての同様な権利とチャンスが与えられる。私たちの家として 10 年後を目指して、このようなコンセプトを進めていきます。

スマイル報告

① 鈴木一広

徳田施設長様、本日は貴重なお話をいただき誠にありがとうございます。社会的養護について少しでもお役に立てるように活動して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



② 小澤邦比呂

9 月 1 日から 3 日まで地区青少年交換事業の富士登山研修が開催されました。当クラブの堀内幹事には交換学生の登山サポートをしていただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。



③ 原田道子

昨夜志田バスターガバナーを囲む会が山梨でありました。当時のアシスタントガバナーがほとんど集まりました。夜 9 時過ぎに 1 次会が終了し、車を飛ばして帰ってきました。初めて中部横断自動車道を通りました。トンネルばかりで面白くないですね。



④ 原田道子

9 月 22 日遠鉄アセットマネジメント主催で不動産投資セミナーが開催されます。ただしチラシを配布する前に定員になったそうで今どうするか困っているようです。多分定員より増やすでしょう。投資では少し名前がうれてきたかな？